

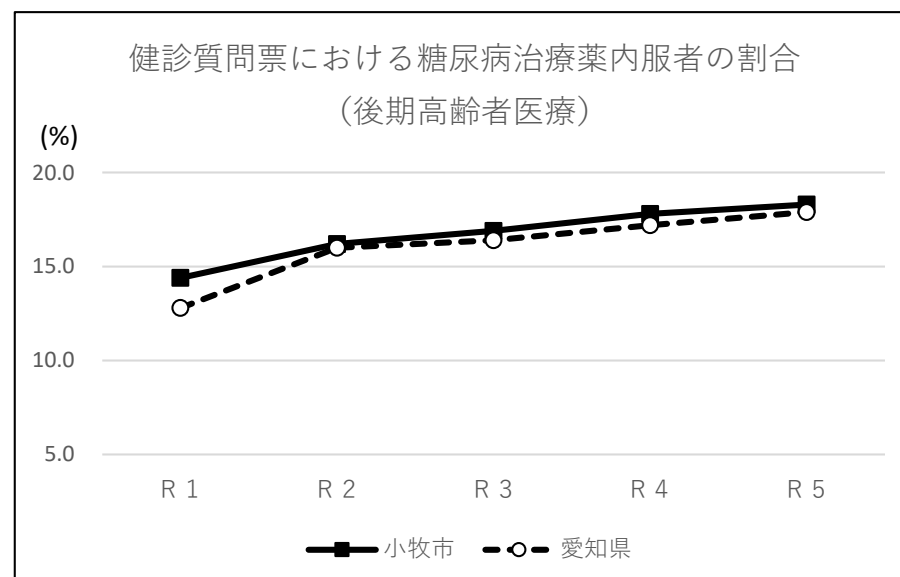
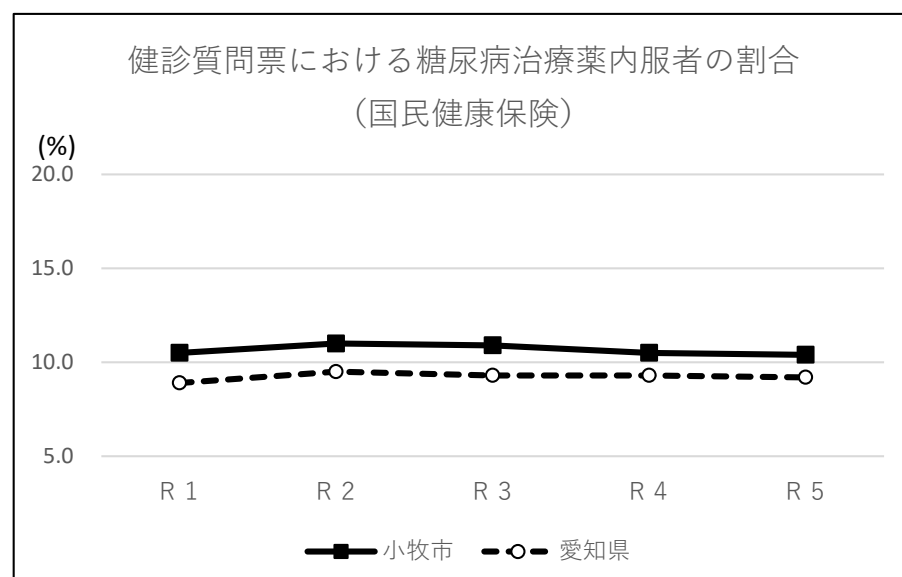


■取組の経緯

- ・糖尿病はひとたび発症してしまうと治癒することなく、放置すると様々な合併症を引き起こす。
- ・合併症が進行すると、これまでの生活が一変し、生活の質（Q O L）の低下や健康寿命にも影響。
- ・特に、人工透析に移行すると医療費が高額となるうえ、患者の時間的な拘束時間も長くなる。

◆小牧市の現状

<糖尿病治療薬内服者の状況>

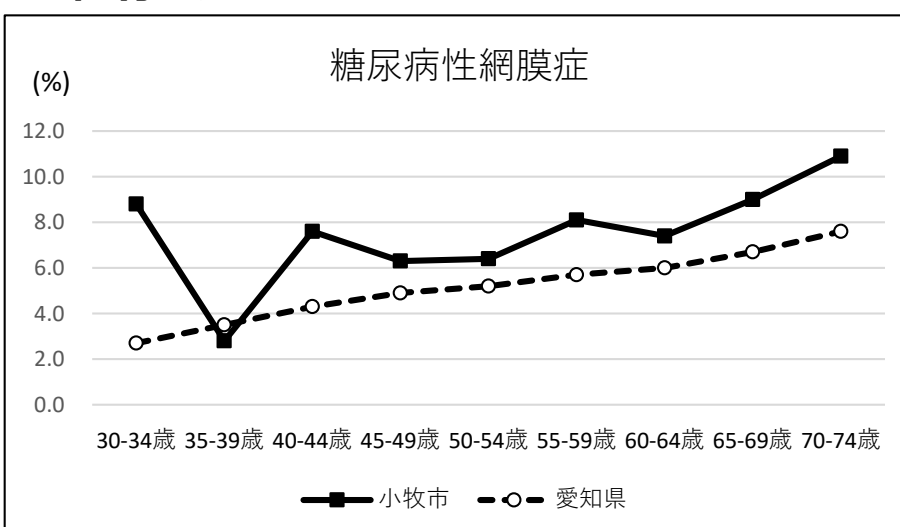
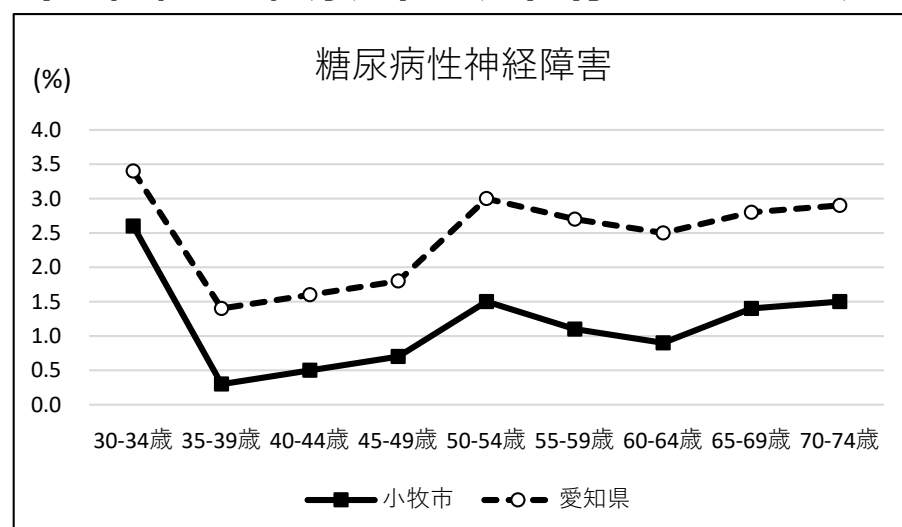


KDBシステムでデータ【地域の全体像の把握】より

・国民健康保険健診対象者において、糖尿病治療薬内服者の割合は愛知県平均より高い。

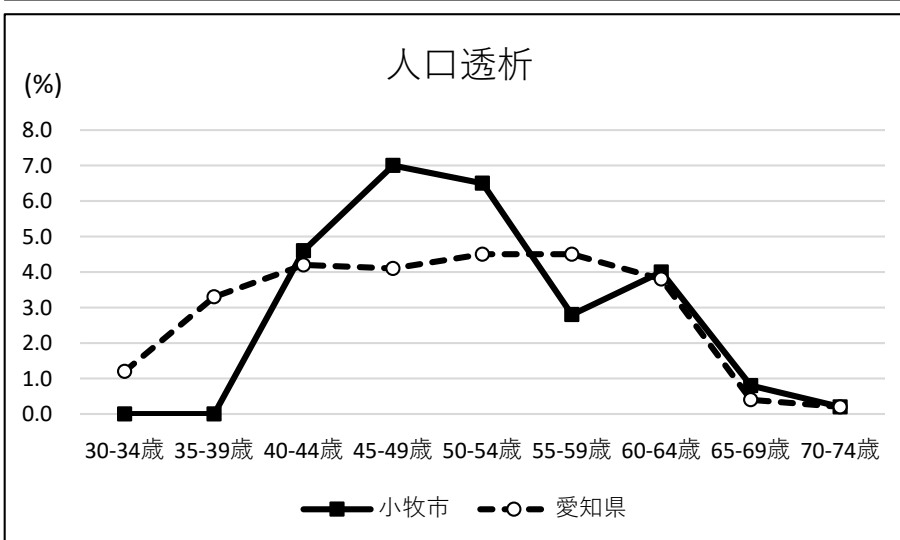
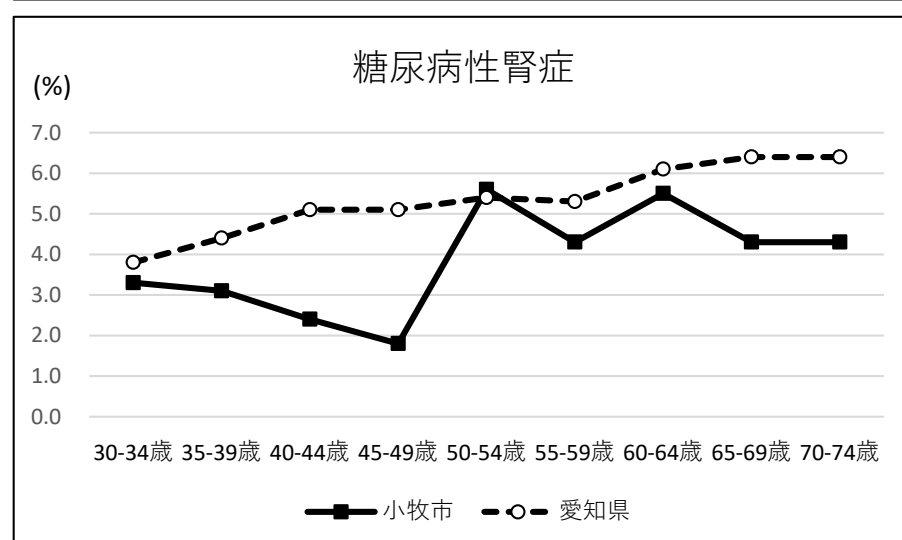
・後期高齢者医療健康診査対象者においては、糖尿病治療薬内服者の割合は愛知県平均よりわずかに高く、年々増加傾向である。

<年齢階級別 糖尿病性疾病保有者に占める疾病ごとの保有率>



・「糖尿病性神経障害」と「糖尿病性腎症」については、愛知県と比較してほぼ全世代において低い保有率となっている。

・「糖尿病性網膜症」については、愛知県と比較してほぼ全世代において高い保有率となっている。



AICube 医療受診情報【年齢階級別糖尿病性疾病保有者に占める疾病ごとの保有率】より

◆これまでの取組

平成25年度	「糖尿病連携手帳」を活用した歯周病予防事業開始
平成26年度	小牧市の健康増進計画「第2次健康日本21こまき計画」において重点施策として「糖尿病重症化予防」の取組を明記
平成30年度	健康日本21重点施策として「市民健康講座」の実施
令和2年度	保険医療課、保健センター、健康生きがい推進課の3課における糖尿病重症化予防に向けた打ち合わせの開始
令和4年度	市内の内科を標榜する医療機関に糖尿病重症化予防に関するアンケート実施 ⇒糖尿病患者を重症化させないために必要なことは、「患者自身の病識の充足」 市民病院、医師会医師との打ち合わせ開始



令和 6 年度の取組（周知啓発）

11月14日World Diabetes Day（世界糖尿病デー）に伴う取組

◆広報での特集記事掲載

- ・ 11月号広報において、特集記事4ページを掲載
- ・ 記事作成にあたり、市民病院、医師会医師に助言をいただき作成



広報こまき11月号

◆市ホームページによる周知啓発

- ・ 糖尿病に関する情報をまとめたHPを作成
- ・ 市民病院をはじめ、市民活動団体等で行われている糖尿病に関連する取組を周知啓発



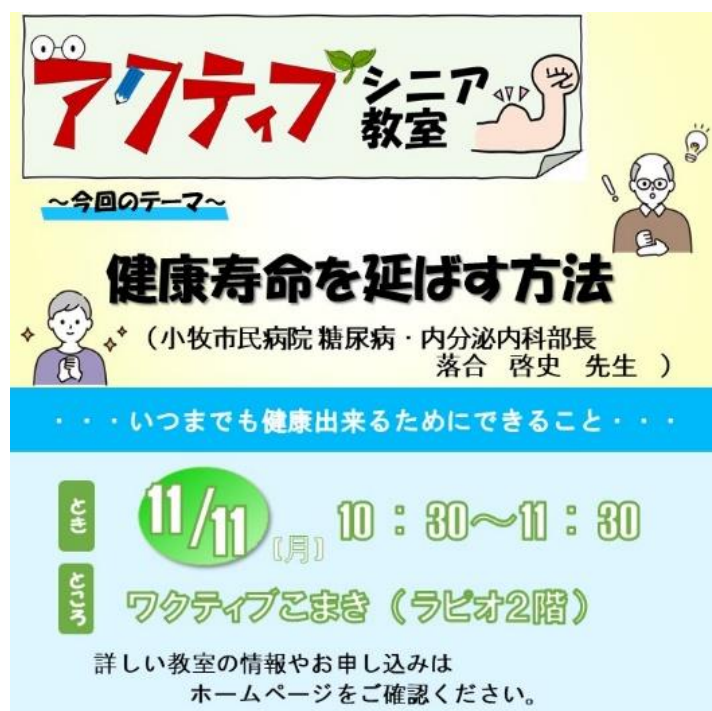
市ホームページ
「糖尿病について」

◆市Facebook、X、ウォーキングアプリalkoにおける周知啓発



◆講座の開催及び周知

- ・ アクティブシニア教室（市民病院 糖尿病・内分泌内科 医師講師）
- ・ 市民病院 市民講座「糖尿病とともに」
- ・ 第2回YOBOSH座談会（市民活動団体 co-YOBOSH テーマ：お口の健康）



【アクティブシニア教室】



【市民病院 市民講座】



【市民活動団体co-YOBOSH YOBOSH座談会】

令和 6 年度の取組（周知啓発）

◆市役所 1 階における糖尿病関連リーフレットの配布

- ・小牧市役所本庁舎1階 エスカレーター横にて糖尿病に関するリーフレットを設置

期間：11月11日(月)～14日(木)



小牧市役所本庁舎1階
エスカレーター横



パークアリーナ小牧

◆ケーブルテレビにおける動画配信

- ・小牧市民病院 医師出演

配信期間：11月9日～15日

YouTube配信（市政だより）



糖尿病を予防しましょう【小牧市市政だより】



YouTube動画
【市政だより（糖尿病を
予防しましょう）】

◆ブルーライトアップ事業

期間：11月11日(月)～14(木)

場所：小牧市役所庁舎屋外ライト、パークアリーナ小牧



小牧市役所本庁舎1階
北側ロータリー



パークアリーナ小牧

